

# 住民意識調査の結果について（報告）

## 1. 調査項目

- (1) 四万十川の保全に対する取組み
- (2) 四万十川との関わり
- (3) 環境を守る行動や意欲
- (4) 通信手段について
- (5) 居住意思と満足度

## 2. 調査対象

- (1) 母集団 四万十川流域 5 市町村 18 歳以上の者
- (2) 標本数 1,000 人
- (3) 抽出法 層化抽出法（市町村合併後の新市町村単位でなく旧市町村単位での抽出を行う）  
梶原町、津野町（旧東津野村）、四万十町（旧窪川町、旧大正町、旧十和村）、  
四万十市（旧中村市、旧西土佐村）、中土佐町（旧大野見村）  
※分析にあたり上記の 8 地区を、流域に対応した以下の 3 居住地域に分類する。  
上流域：梶原町、旧東津野村、旧大野見村  
中流域：旧十和村、旧大正町、旧窪川町  
下流域：旧中村市、旧西土佐村

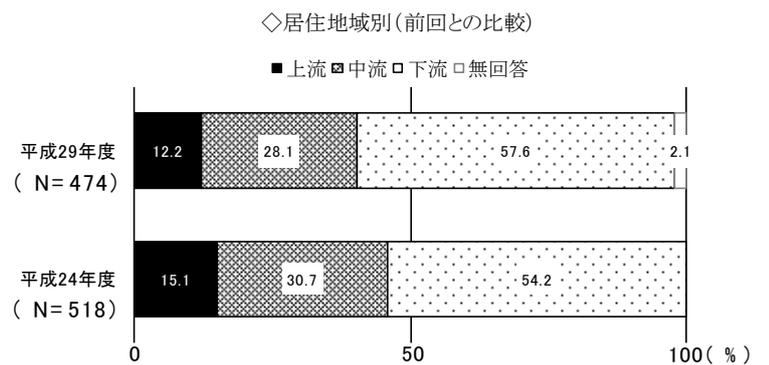
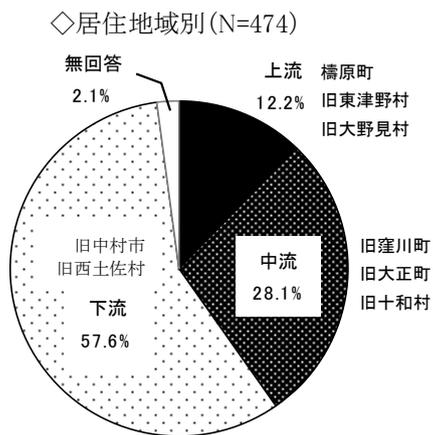
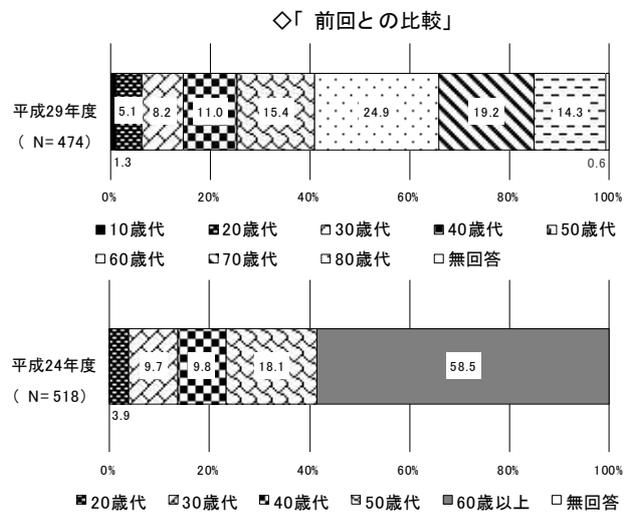
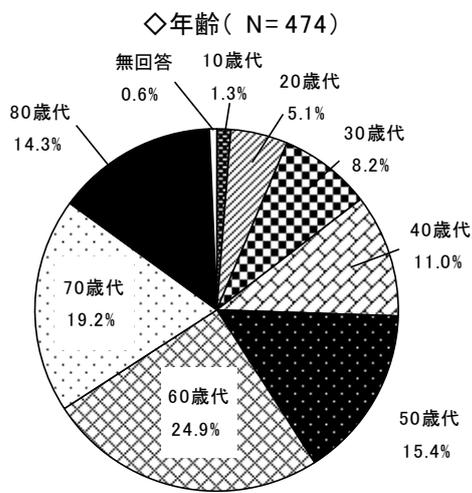
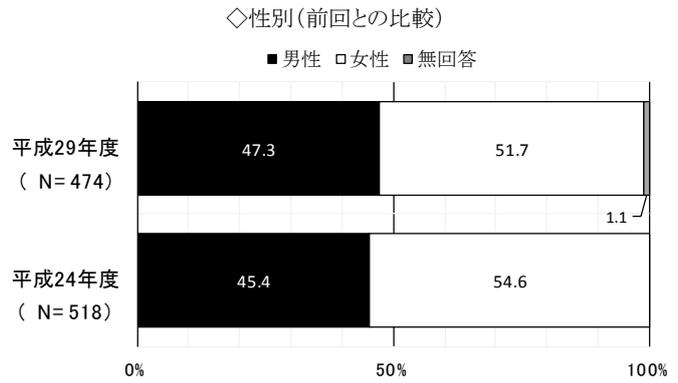
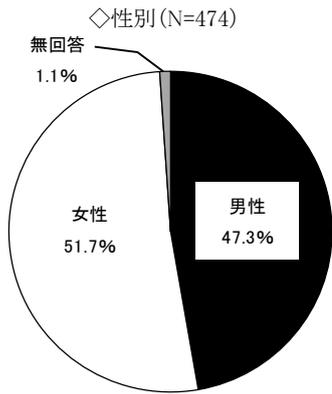
3. 調査期間 平成 29 年 10 月 5 日～10 月 27 日

4. 調査方法 郵送法

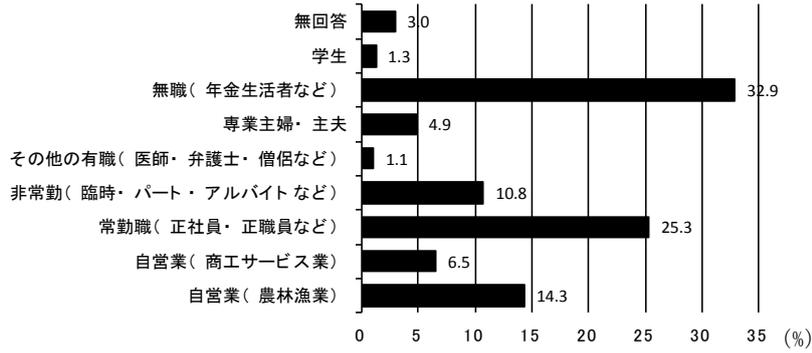
5. 有効回収数（率） 474 人（47.4%）



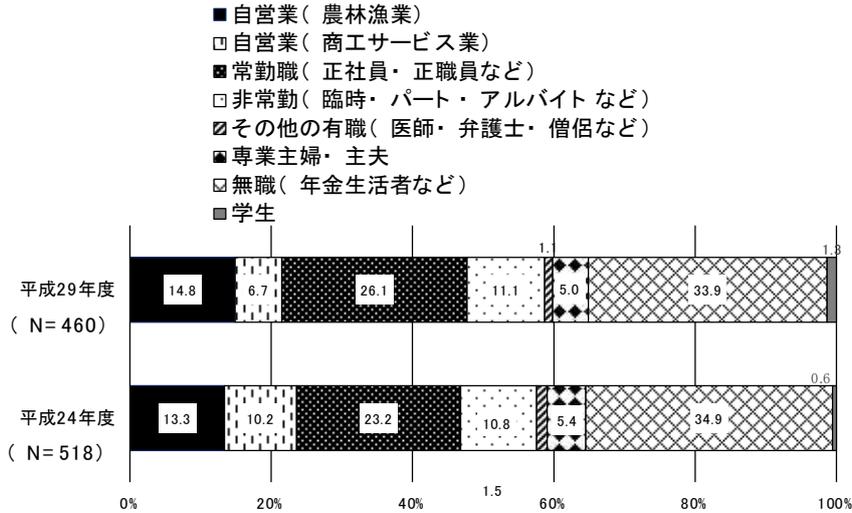
調査対象者の基本的属性は以下のとおり。



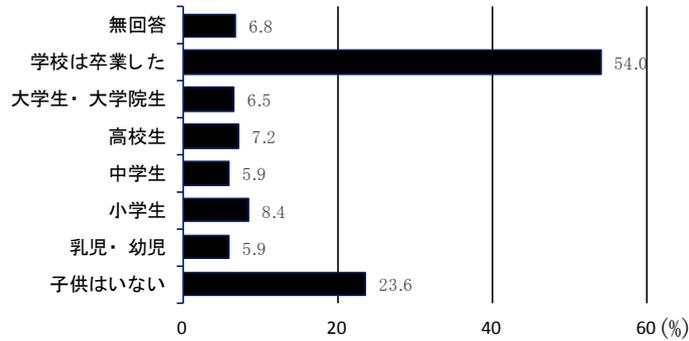
◇職業別(N=474)



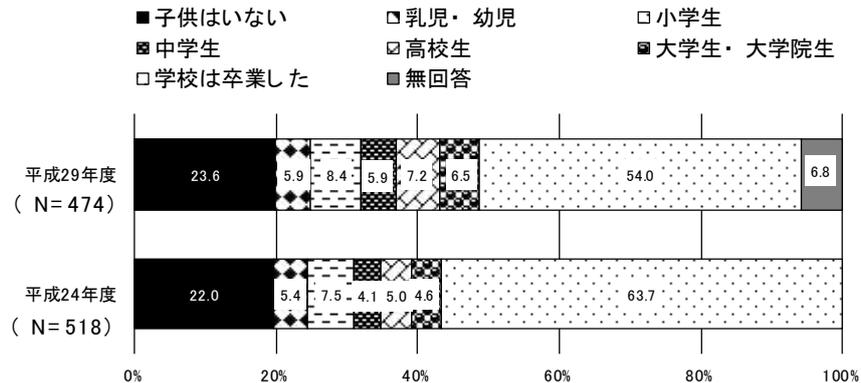
◇職業別(前回との比較)



◇子供の成長段階(N=474)



◇子供の成長段階(前回との比較)



## 調査結果（概要）



# 1. 四万十川の保全に対する取り組み

◇問1 あなたは、「公益財団法人四万十川財団」という組織をご存じですか。

●全体：「知らない」66.6%、「名前を知っている」30.2%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」3.3%。

●性別での比較

・男性は「知らない」64.1%、「名前を知っている」31.8%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」4.1%。

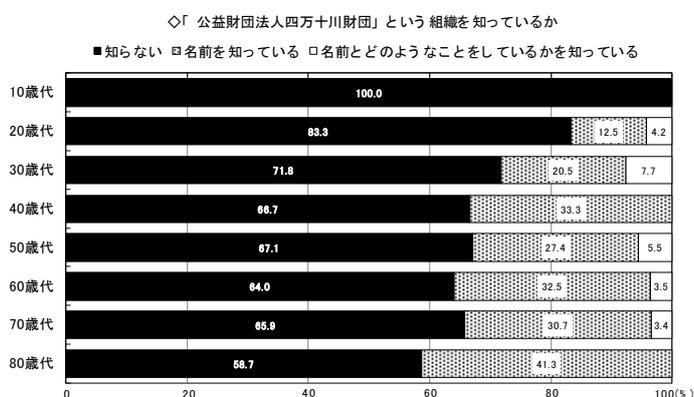
・女性は「知らない」69.2%、「名前を知っている」28.3%、「名前とどのようなことをしているかを知っている」2.5%。

●年齢での比較

・「知らない」と答えた人の割合は10歳代が100%と最も高く、概ね年齢が高くなるほど低下し、80歳代では58.7%と最も低かった。

・「名前を知っている」と答えた人の割合は80歳代が41.3%と最も高く、次いで40歳代の33.3%であった。

・「名前とどのようなことをしているかを知っている」と答えた人の割合は30歳代の7.7%が最も高く、総じて全年齢層において低い割合であった。



●居住地域（上流、中流、下流）での比較

・「知らない」と答えた人の割合は下流域が最も高く72.6%、次いで上流域の70.9%であり、中流域では52.3%と他の地域に比べて低い割合であった。

・「名前を知っている」と「名前とどのようなことをしているかを知っている」と答えた人の割合は中流域では47.7%と、他の地域に比べて高い割合を占めた。

◇問2 あなたは、「四万十川条例」をご存じですか

●全体：「知らない」63.3%、「名前を知っている」31.2%、「名前と内容を知っている」5.5%。

●性別での比較

・男性は「知らない」56.8%、「名前を知っている」36.0%、「名前と内容を知っている」7.2%。

・女性は「知らない」69.7%、「名前を知っている」26.2%、「名前と内容を知っている」4.1%。

●年齢での比較

・「知らない」と答えた人の割合は20歳代、30歳代、70歳代ではいずれも70%以上と高く、50歳代、60歳代では60%以下とやや低かった。

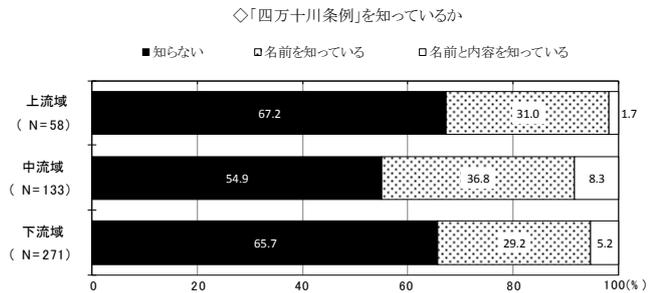
- ・「名前と内容を知っている」と答えた人の割合は10歳代が16.7%と最も高く、次いで50歳代の15.1%であった。

●居住地域（上流、中流、下流）での比較

- ・「知らない」と答えた人の

割合は上流域が

67.2%で最も高く、次いで下流域の65.7%であり、中流域では54.9%と他の地域に比べてやや低い割合であった。



- ・「名前を知っている」と「名前と内容を知っている」と答えた人の割合は中流域が45.1%と、他の地域に比べて高い割合であった。

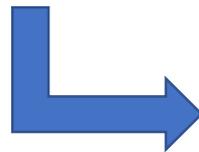
## 2. 四万十川との関わり

◇問3 あなたは、この1年間に仕事以外で川に出かけたことがありますか。

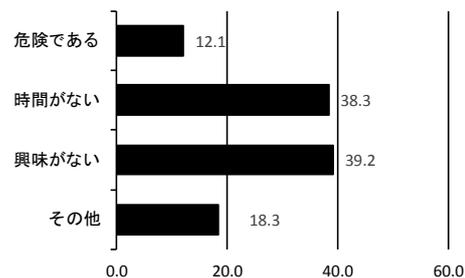
ある : 47.9%      ない : 52.1%



◇問4 「ない」と答えた理由



◇川に出かけなかった理由（複数回答）  
(N=240)



<あると答えた人について>

◇問5 この1年間にどれくらい川に出かけましたか。

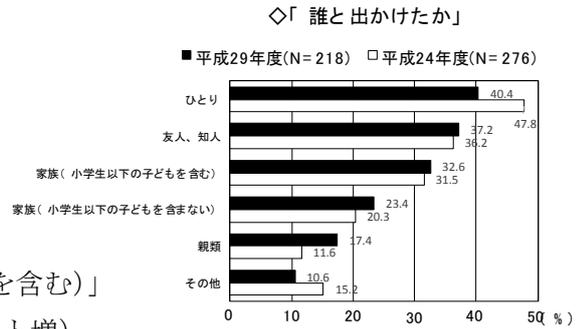
- 頻度：「毎日、ほぼ毎日」5.4%、「週1~2回くらい」10.0%、「月1~2回くらい」19.5%であり、34.9%が「月に1~2回くらい」以上は川に出かけている。しかし、「月1~2回くらい」以上川に出かける人の割合は前回より9.1ポイント減少。
- 性別での比較：「月に1~2回くらい」以上と答えた人の割合
  - ・男性 43.7% ・女性 24.5%
- 年齢での比較
  - ・「毎日、ほぼ毎日」と答えた人の割合は20歳代が16.7%（前回0%）と最も高い。
  - ・「年に1~2回くらい」しか川に出かけないと答えた人の割合は30歳代が70.8%と最も高い。
  - ・「月に1~2回くらい」以上川に出かけた人の割合は、全ての世代において減少。
- 居住地域（上流、中流、下流）での比較
  - ・「月に1~2回くらい」以上と答えた人の割合はすべての地域で減少（前回に比べ5.4~14.2ポイント）。

◇問6 あなたは、この1年間に川で、誰と何をしましたか。

<誰と出かけたか>

●全体

- ・「ひとり」40.4%（前回から7.4ポイント減）。
- ・「友人、知人」37.2%（前回から1.0ポイント増）。
- ・「家族（小学生以下の子どもを含む）」32.6%（前回から1.1ポイント増）。



●性別での比較

- ・男性は「ひとり」が51.7%、女性は「家族（小学生以下の子どもを含む）」が37.5%と最も多かった。

●年齢での比較

- ・「家族（小学生以下の子どもを含む）」は30歳代が62.5%と最も高く、40歳代の44.1%がこれに次いだ。
- ・「友人・知人」は20歳代が75.0%と卓越して高く、50歳代が43.3%とこれに次いだ。
- ・「ひとり」は60歳代以上が52.8%と最も高く、20歳代が41.7%とこれに次いだ。

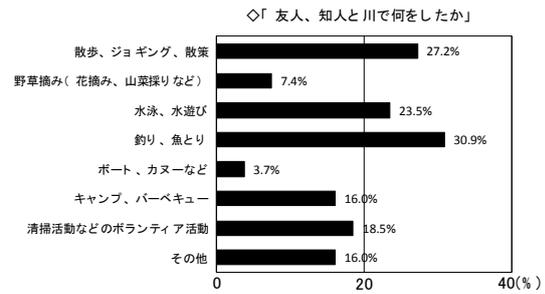
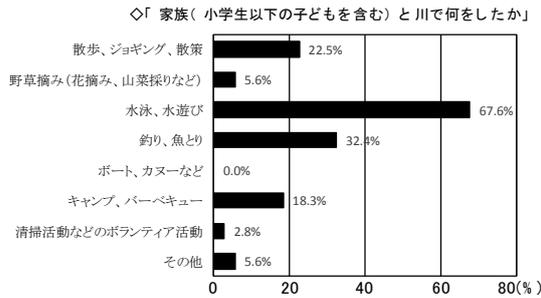
●居住地域での比較

- ・上流域では「友人・知人」が43.5%と最も高く、「ひとり」が39.1%とこれに次いだ。
- ・中流域では「ひとり」が44.2%、「友人・知人」が42.3%と、ともに高い割合を占めた。
- ・下流域では「ひとり」が40.9%と最も高く、「家族（小学生以下の子どもを含む）」、「友人・知人」がともに35.6%とこれに次いだ。

<川で何をしたか>

●全体

- ・「家族（小学生以下含む）」で最も多いのは「水泳、水遊び」で67.6%。
- ・「家族（小学生以下含まない）」は「散歩、ジョギング、散策」で33.3%。
- ・「親類」は「水泳、水遊び」で44.7%。
- ・「友人、知人」は「釣り、魚とり」で30.9%。
- ・「ひとり」は「散歩、ジョギング、散策」で50.0%。



●性別での比較 「誰と」について最も多い項目およびその人と「何をしたか」

男性：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」46.7%

女性：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」72.2%

●年齢での比較 「誰と」について最も多い項目およびその人と「何をしたか」

10歳代：「友人、知人」→「水泳、水遊び」100%

「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」100%

20歳代：「友人、知人」→「水泳、水遊び」44.4%

30歳代：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」86.7%

40歳代：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」73.3%

50歳代：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「釣り、魚とり」50.0%

60歳代：「ひとり」→「釣り、魚とり」が51.5%

70歳代：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」61.1%

80歳代：「ひとり」→「散歩、ジョギング、散策」「釣り、魚とり」50.0%

●居住地域での比較 「誰と」について最も多い項目および

その人と「何をしたか」

上流域：「友人、知人」→「釣り、魚とり」40.0%

中流域：「友人、知人」→「釣り、魚とり」31.8%

下流域：「家族（小学生以下の子どもを含む）」→「水泳、水遊び」63.8%

### 3. 環境を守る行動や意欲

<環境を守るために日頃どのような行動を行っているか>

●全国調査との比較：

・比較した6項目中3

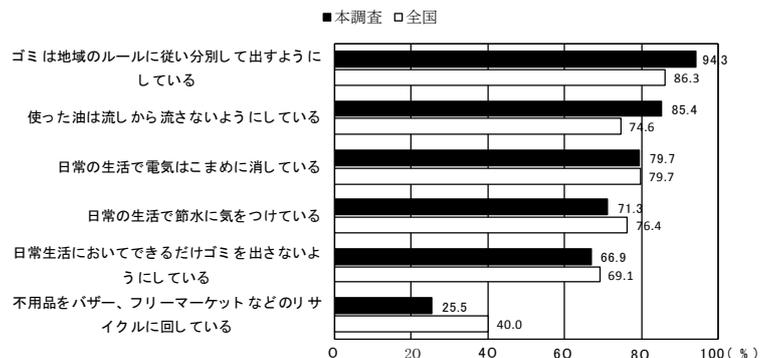
項目において調査地域の『実施率』が全国調査の『実施率』を下回った。

・実施率が全国調査よりも上回っている

項目：「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」

94.3%（全国調査より8.0ポイント多い）、「使

◇「環境を守るために日頃どのようなことをおこなっているか」全国調査(平成28年度)との比較(「いつも行っている」+「だいたい行っている」)



った油は流しから流さないようにしている」85.4%（全国調査より10.8ポイント多い）。

- ・実施率が全国よりも下回っている項目：「日常の生活で節水に気をつけている」71.3%（全国調査より5.1ポイント低い）、「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」66.9%（全国調査より2.2ポイント低い）、「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」25.2%（全国調査より14.5ポイント低い）。

### ●性別での比較

- ・13項目中12項目において、男性より女性のほうが実施率が高い。

男性：

#### <実施率が高い項目>

- ・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」92.7%
- ・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」86.4%
- ・「使った油は流しから流さないようにしている」79.5%

#### <実施率が低い項目>

- ・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」24.1%
- ・「米のとき汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」28.3%
- ・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」34.5%

女性：

#### <実施率が高い項目>

- ・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」95.8%
- ・「使った油は流しから流さないようにしている」91.0%
- ・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」90.9%

#### <実施率が低い項目>

- ・「米のとき汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」25.6%
- ・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」27.1%
- ・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」38.2%

### ●年齢での比較

#### <全年齢層において実施率が高い項目>

- ・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」（平均93.6%）
- ・「ビン、カン、ペットボトルは分別してリサイクルに回している」（平均85.6%）
- ・「使った油は流しから流さないようにしている」（平均79.1%）

#### <全年齢層において実施率が低い項目>

- ・「米のとき汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」（平均22.9%）
- ・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」（平均23.8%）
- ・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」（平均30.2%）

#### <特定の年齢層において実施率が低い項目>

- ・「風呂の残り湯は、せんたく、そうじ、庭の水やりなどに再利用している」と

「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」10歳代で0%

・「米のとぎ汁やみそ汁などは流しから流さないようにしている」30歳代で0%

### ●居住地での比較

・すべての居住地において「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」が最も実施率の高い項目となっている。居住地による大きな違いは認められなかった。

◇問8 あなたのご家庭では、日頃、流しの排水口や三角コーナーで水切り袋などを使っていますか。

- ・「いつも使っている」67.0%（前回調査より2.5ポイント増加）
- ・「全く使っていない」12.4%（前回から1.9ポイント減少）

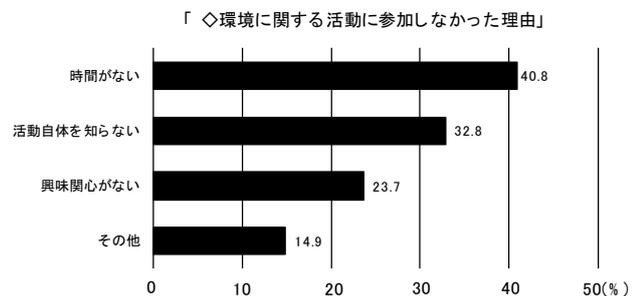
◇問9 あなたのご家庭では、日頃、家庭から出る生ゴミのたい肥化に取り組んでいますか。

- ・「全くしていない」51.9%（前回から3.2ポイント増加）
- ・「いつもしている」20.9%（前回から2.5ポイント減少）

◇問10 あなたは、環境に関する活動に参加したことがありますか。

ある：42.3%      ない：57.7%

◇問11 「ない」と答えた理由



◇問12 四万十川やその流域の環境を保全するために、寄付を募るとすれば協力してもよいと思いますか。

思う：77.3%（前回から4.3ポイント減少）

思わない：22.7%（前回から4.3ポイント増加）

◇問13 1か月あたり協力しても良いと思う金額は。

### ●全体

- ・「300円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は前回調査の61.4%から64.2%へと2.8ポイント増加。
- ・「～1,000円くらいまで」以上の金額を答えた人の割合は23.0%（前回から4.4ポイント増加）

### ●性別での比較

- ・男性では「～100円くらいまで」が最も多く31.7%、次いで「～1,000円くらいまで」が28.3%。

- ・女性では「～500円くらいまで」が最も多く28.3%、次いで「～100円くらいまで」が27.3%。

### ●年齢での比較

- ・「～300円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合が最も高いのは30歳代の85.7%で、次いで50歳代の71.1%。
- ・前回調査と比較すると、特に30歳代の「～1,000円くらいまで」と答えた人の割合が大幅に増加。(前回から29.2ポイント増加)。

### ●居住地での比較

- ・今回調査では居住地ごとの金額に明瞭な差は認められなかった。
- ・前回調査と比べ、中流域、下流域は大きな変化はなかったが、上流域のみ「～300円くらいまで」の金額を回答した人の割合が低下し(前回から6.8ポイント減少)、一方で「～500円くらいまで」以上の金額を回答した人の割合は増加(前回から6.8ポイント増加)。

## 4. 通信手段について

◇問14 あなたは、携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

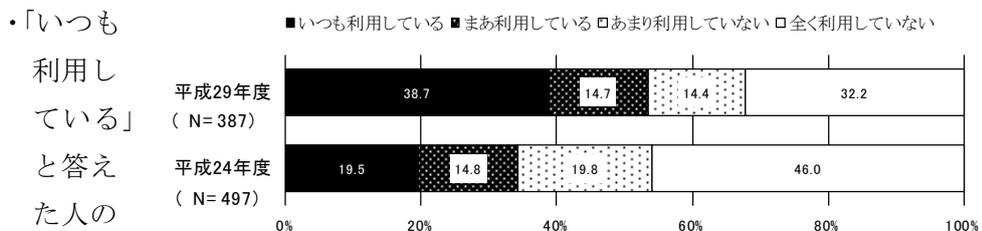
**持っている : 83.6%** (前回から5.4ポイント増加)

**持っていない : 16.4%** (前回から5.4ポイント減少) → 問16へ

◇問15 日頃、携帯電話やスマートフォンでインターネットを利用していますか。

### ●全体

◇「携帯電話でのネット利用状況」



割合は38.7%、「まあ利用している」と答えた人の割合は14.7%で、これらを合わせた「利用率」は53.4%となっており、前回調査の34.3%から19.1ポイント増加。特に「いつも利用している」と答えた人の割合が前回の19.5%から38.7%へと大幅に増加。

### ●性別での比較

- ・前回調査と同様に男性の方が「持っている」と答えた人の割合が高い。男性は前回の83.2%から88.1%へ4.9ポイント、女性は前回の74.0%から80.4%へ6.4ポイント増加。

### ●年齢での比較

- ・20歳～40歳代において「持っている」と答えた人の割合が100%となっている。また、すべての年代において「持っている」と答えた人の割合が前回よりも増加。

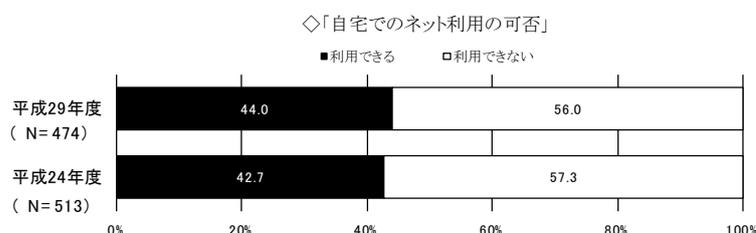
### ●居住地での比較

- ・「持っている」と答えた人の割合は下流域が 86.8%と最も高い。前回と比較すると、上流域のみ「持っている」と答えた人の割合が 7.1 ポイント減少。

## ◇問 16 あなたのお宅では、パソコンなどでインターネットが利用できますか。

### ●全体

- ・「利用できる」と答えた人の割合は 44.0%で、前回調査の 42.7%から 1.3 ポイント増加している。



### ●性別での比較

- ・男女で割合に大きな差はない。前回と比較すると男性はわずかに減少していたものの、女性は 4.3 ポイント増加。

### ●年齢での比較

- ・「利用できる」と答えた人の割合が最も多かったのは 30 歳代の 84.2%で、前回の 62.0%から大幅に増加。また、40 歳代においても前回の 68.6%から 76.9%と 8.3 ポイント増加。

### ●居住地での比較

- ・「利用できる」と答えた人の割合は前回同様中流域が 46.1%と最も高い。中流域では前回と全く変化がないが、その他の地域においてはどちらも「利用できる」と答えた人の割合が増加。

## 5. 居住意思と生活の満足度

## ◇問 17 今お住まいのこの地域にずっと住み続けたいと思いますか。

そう思っている : 86.8% (前回から 1.4 ポイント増加)

そう思っていない : 13.2% (前回から 1.4 ポイント減少)

### ●性別での比較

- ・前回調査と比べ、男性は 86.6%から 88.7%と 2.1 ポイント、女性は 84.3%から 84.8%と 0.5 ポイント増加。

### ●年齢での比較

- ・30 歳～60 歳代以上は「そう思っている」と答えた人の割合が 8 割以上と高くなっている。特に 30 歳代においては、「そう思っている」と答えた人の割合が 89.7%と前回から 23.7 ポイントの大幅増。
- ・20 歳代では「そう思っている」と答えた人の割合は 54.2%と全年代中最も低い。

●**居住地域での比較**

- ・「そう思っている」と答えた人の割合が最も高いのは下流域で88.9%。上流域のみ前回と比較して「そう思っている」人の割合が4.5ポイント減少。

◇問 18 今お住まいの地域を総合的にみて、どの程度満足していますか。

●**全体**

- ・「満足している」と答えた人の割合は25.4%、「まあ満足している」と答えた人の割合は43.2%で、この2項目を合わせた『満足率』は68.6%となり、前回調査の67.5%から1.1ポイント増加。

●**性別での比較**

- ・男性と女性の割合に大差はない。また、「満足している」と答えた人の割合は、男女ともに前回よりもわずかに増加。

●**年齢での比較**

- ・20歳代を除くすべての年代で満足率が増加。20歳代では「満足している」と答えた人の割合は前回に比べ10.8ポイント増加したが、「まあ満足している」と答えた人の割合が21.7ポイント低下し、その結果満足率は54.1%と前回より10.9ポイント低下。

●**居住地域での比較**

- ・満足率は全流域で約7割と高くなっている。また『満足率』については中流域のみ前回より減少しているものの、「満足している」と答えた人の割合はすべての地域で増加している。

◇問 19 今お住まいの地域に関して、どの程度満たされていますか。

<満足度が高い項目>

- ・「まわりに親しめる自然があること」74.3%
- ・「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%
- ・「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

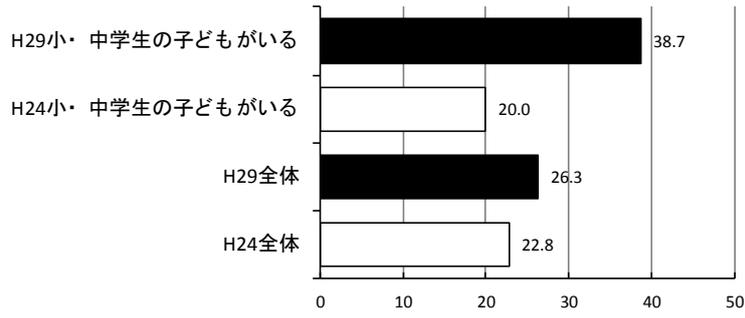
<満足度が低い項目>

- ・「収入が年々確実に増えること」5.5%
- ・「能力があつて努力すれば誰もがふさわしい地位や収入が得られること」8.0%
- ・「市や町の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」10.1%

●**前回との比較**

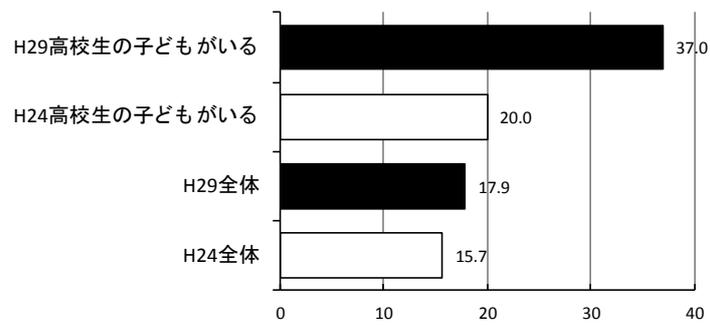
- ・「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」と答えた人の割合は前回より9.0ポイント増加。
- ・「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」と答えた人のうち、「小・中学校」の子どもがいると答えた人の割合は38.7%と前回より18.7ポイント増加。

「小・中学校で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられること」×「小・中学校」の子どもがいると答えた人



・「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」と答えた人のうち、「高校生」の子どもがいると答えた人の割合は 37.0%と前回より 17.0 ポイント増加。

「高校で自分の目的に合った教育が受けられること」×「高校生」の子どもがいると答えた人



## 単純集計結果



## 1. 四万十川の保全に対する取組

### 【「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか】

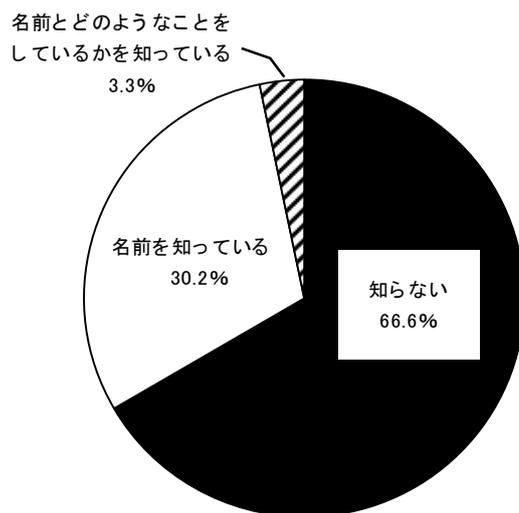
「知らない」 66.6%

「名前を知っている」 30.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」 3.3%

#### ◇「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか

(N=461)



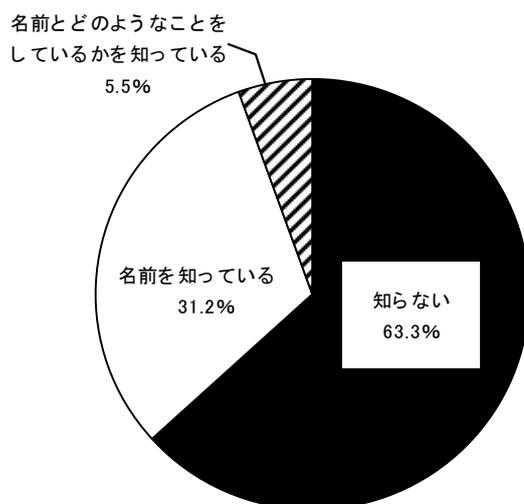
### 【「四万十川条例」を知っているか】

「知らない」と答えた人が 63.3%

「名前を知っている」と答えた人 31.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」 5.5%

#### ◇「四万十川条例」を知っているか(N=471)



#### <特記事項>

問1、問2ともに「知らない」と答えた人が6割以上を占め、依然「公益財団法人四万十川財団」及び「四万十川条例」の認知度が低いことがうかがえた。

## 2. 四万十川との関わり

【この1年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか】

「ある」47.9%（前回から5.9ポイント減少）、「ない」52.1%

→「ある」と答えた人について

<頻度>

割合が高い項目：「年1～2回くらい」43.9%、「2～3ヶ月に1回くらい」21.3%、  
「月1～2回くらい」19.5%

これらを合わせると、34.9%が「月に1～2回くらい」以上は川に出かけている。  
（前回から9.1ポイント減少）

<誰と出かけたか>（複数回答）

割合が高い項目：「ひとり」40.4%（前回から7.4ポイント減少）

「友人、知人」37.2%（前回から1.0ポイント増加）

「家族（小学生以下の子どもを含む）」32.6%（前回から1.1ポイント増加）

<川で何をしたか>（複数回答）

“誰と”ごとに割合が高い項目：

「家族（小学生以下含む）」「水泳、水遊び」67.6%

「家族（小学生以下含まない）」と「散歩、ジョギング、散策」33.3%

「親類」と「水泳、水遊び」44.7%

「友人、知人」と「釣り、魚とり」30.9%

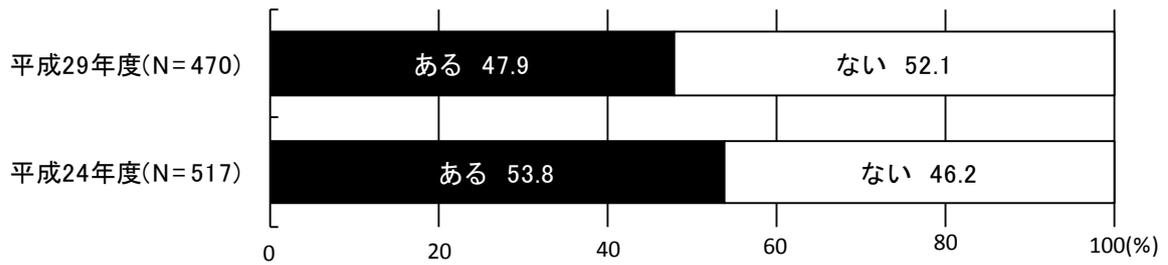
「ひとり」で「散歩、ジョギング、散策」50.0%

「その他（の人）」と「清掃活動などのボランティア活動」60.9%

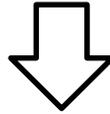
<特記事項>

- ・四万十川流域に暮らす人の半数近くが川に出かけている。（そのうちの約3割の人が月に1回以上は川に出かけている）
- ・「ひとり」および「その他」と出かけた人は減少している一方、「親類」と出かけた人は5.8ポイント増加している。
- ・「家族（小学生以下の子どもを含む）」および「親類」と出かけた人の多くは「水泳、水遊び」を、「ひとり」で出かけた人の多くは「散歩、ジョギング、散策」を、「その他（の人）」とは「清掃活動などのボランティア活動」が高い割合となっており、誰と出かけるかによって目的が明瞭に異なっていることがうかがえる。

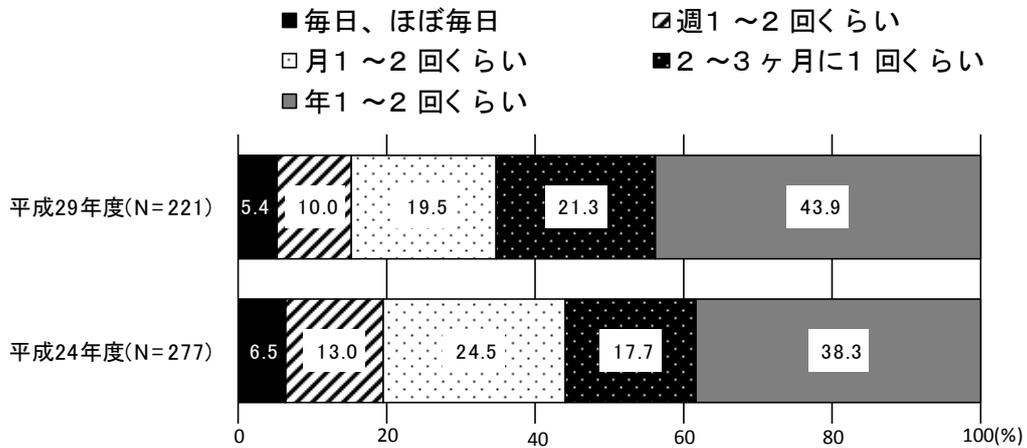
◇「この1年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか」



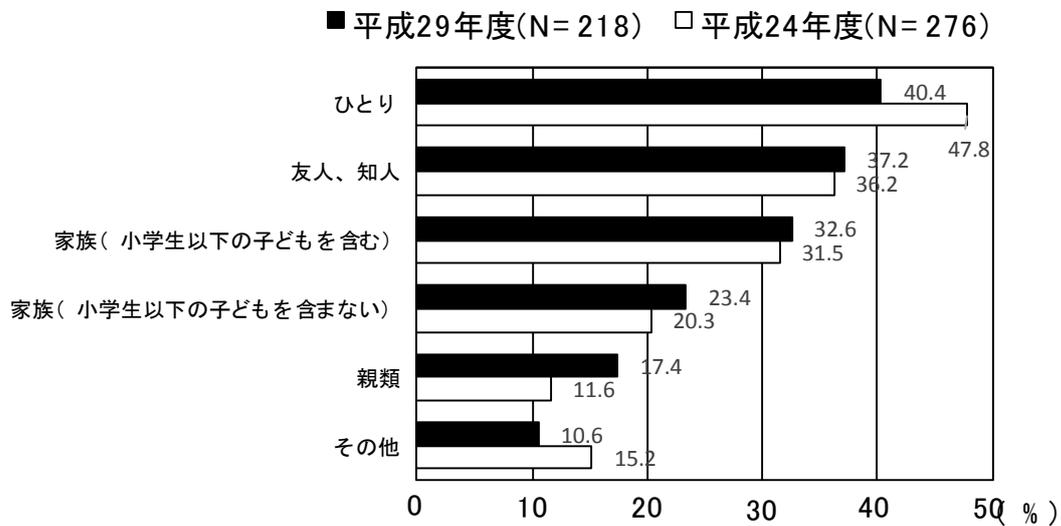
「ある」と答えた人の回答



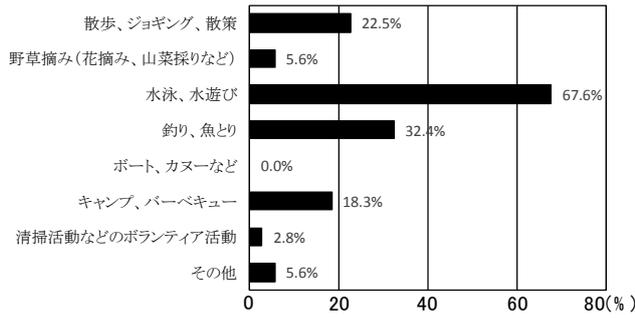
◇「川に行く頻度」



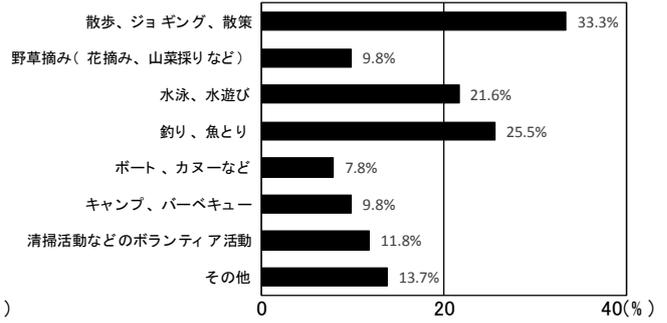
◇「誰と出かけたか」



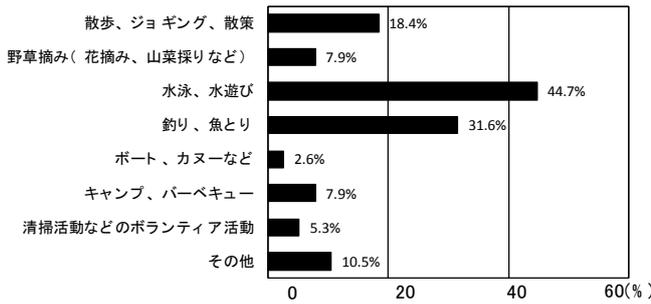
◇「家族（小学生以下の子どもを含む）と川で何をしたか」



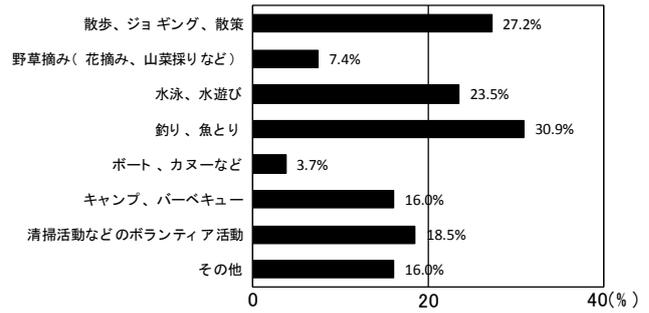
◇「家族（小学生以下の子どもを含まない）と川で何をしたか」



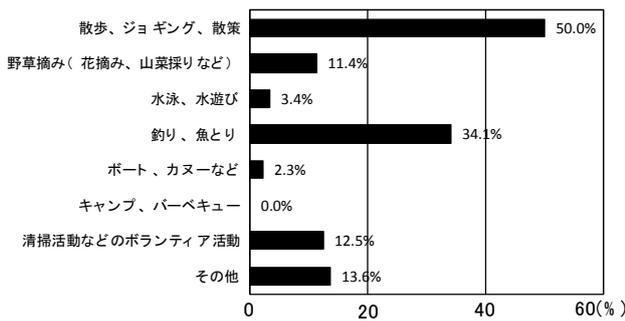
◇「親類と川で何をしたか」



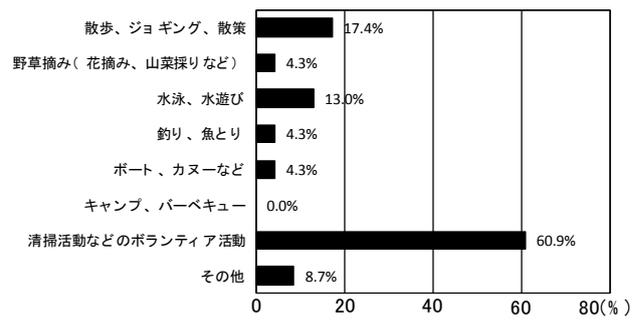
◇「友人、知人と川で何をしたか」



◇「ひとりで川で何をしたか」



◇「その他と川で何をしたか」



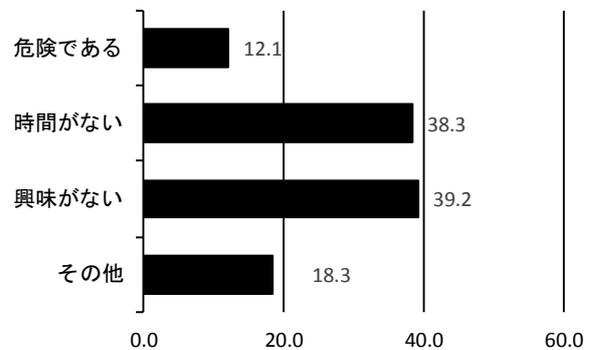
→ 「ない」と答えた人について（複数回答）

【川にでかけなかった理由】

「興味がない」39.2%、「時間がない」38.3%、  
「その他」18.3%、「危険である」12.1%

◇川に出かけなかった理由（複数回答）

(N=240)

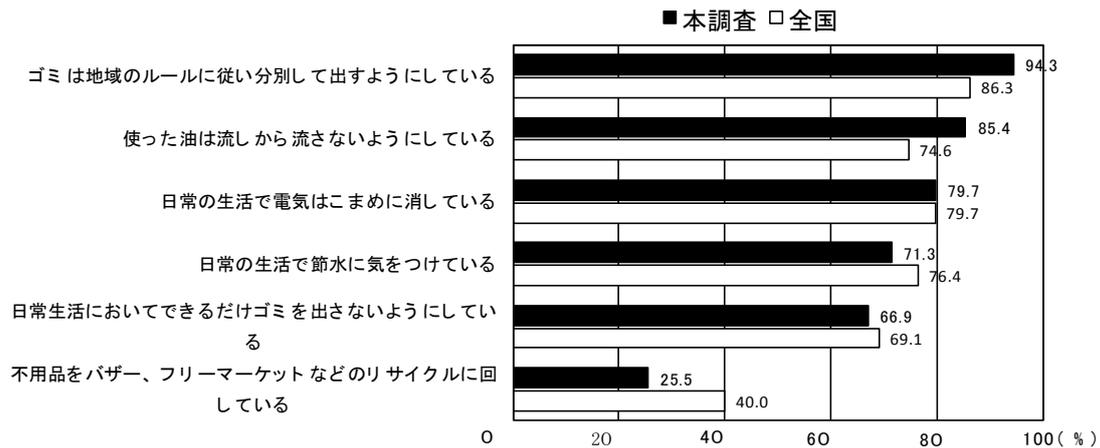


### 3. 環境を守る行動や意欲

#### 【環境を守る行動】

環境を守るために日頃行っている行動についての質問で「いつも行っている」と「だいたい行っている」を合わせた『実施率』を項目ごとにまとめ、環境省の「環境にやさしいライフスタイル実態調査（平成28年度）」と比較した。

◇「環境を守るために日頃どのようなことをおこなっているか」全国調査（平成28年度）との比較（「いつも行っている」＋「だいたい行っている」）



実施率が全国調査よりも上回っている項目：

- ・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」94.3%  
（全国調査より8ポイント高い）
- ・「使った油は流しから流さないようにしている」85.4%（全国調査より10.8ポイント高い）

実施率が全国よりも下回っている項目：

- ・「日常生活で節水に気をつけている」71.3%（全国調査より5.1ポイント低い）
- ・「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」66.9%  
（全国調査より2.2ポイント低い）
- ・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」25.2%  
（全国調査より14.5ポイント低い）

実施率が全国調査と同じ項目：

- ・「日常生活で電気はこまめに消している」79.7%

#### <特記事項>

- ・比較した8項目中3項目において本調査の『実施率』が全国調査の『実施率』を下回った。
- ・特に「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」の実施率は、全国調査と比較して14.5ポイントと大きく下回り、バザー、フリーマーケットへのなじみが薄いことがうかがえる。

【家庭で日頃、排水口や三角コーナーに水切り袋を設置しているか】

割合の多い項目：「いつも使っている」67.0%（前回から2.5ポイント増加）

「全く設置していない」12.4%（前回から1.9ポイント減少）

【家庭で日頃、生ゴミのたい肥化に取り組んでいるか】

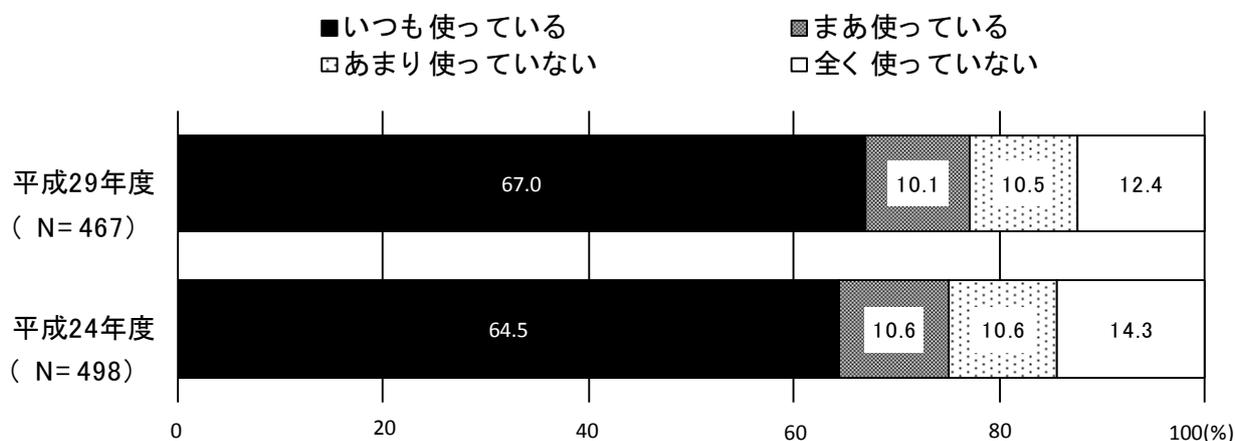
割合の多い項目：「全くしていない」51.9%（前回から3.2ポイント増加）

「いつもしている」20.9%（前回から2.5ポイント減少）

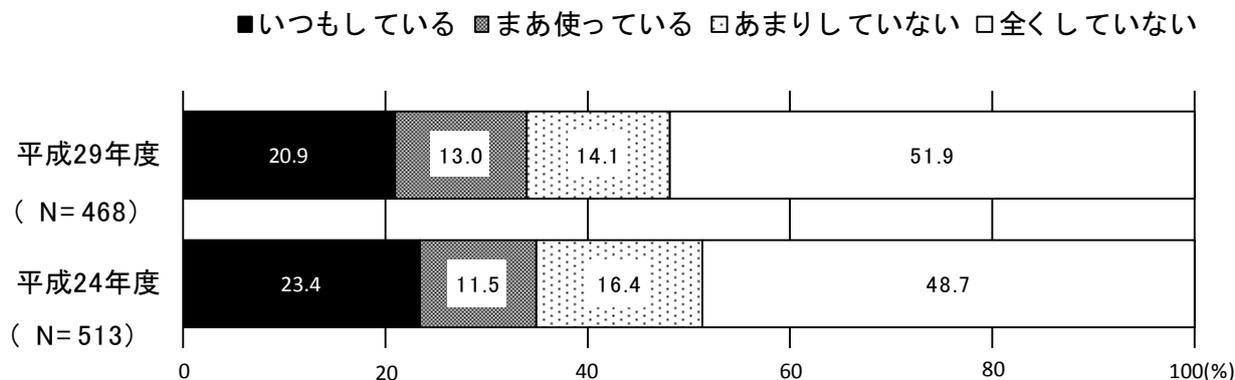
<特記事項>

- ・前回調査と比較すると、水切り袋の使用率は増加した。
- ・生ゴミ堆肥化については取組みに減少の傾向が見られる。

◇「家庭における水切り袋使用の有無」



◇「家庭における生ゴミ堆肥化への取り組みの有無」



【四万十川や流域の環境を保全するために、寄付を募るとすれば、協力してもよいと思うか】

「思う」77.3%（前回から4.3ポイント減少）、「思わない」22.7%

【環境保全のための寄付協力可能な上限額】

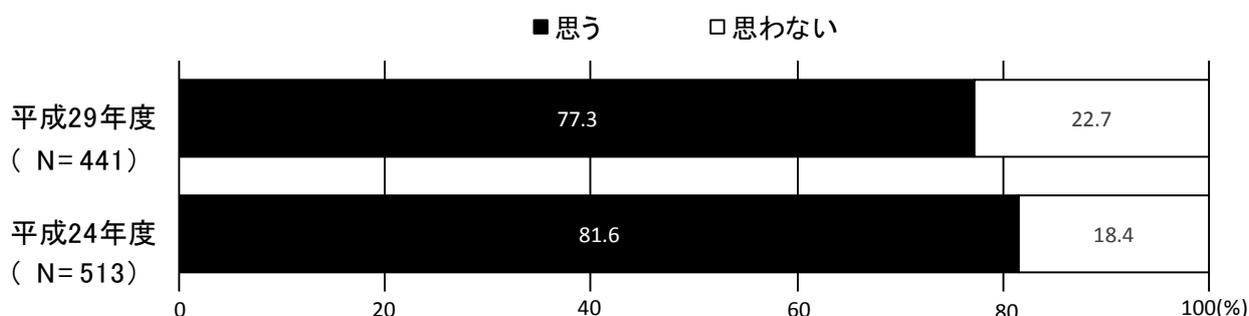
割合の多い項目：

「～500円くらいまで」24.8%、「～100円くらいまで」29.3%、「～1,000円くらいまで」20.0%

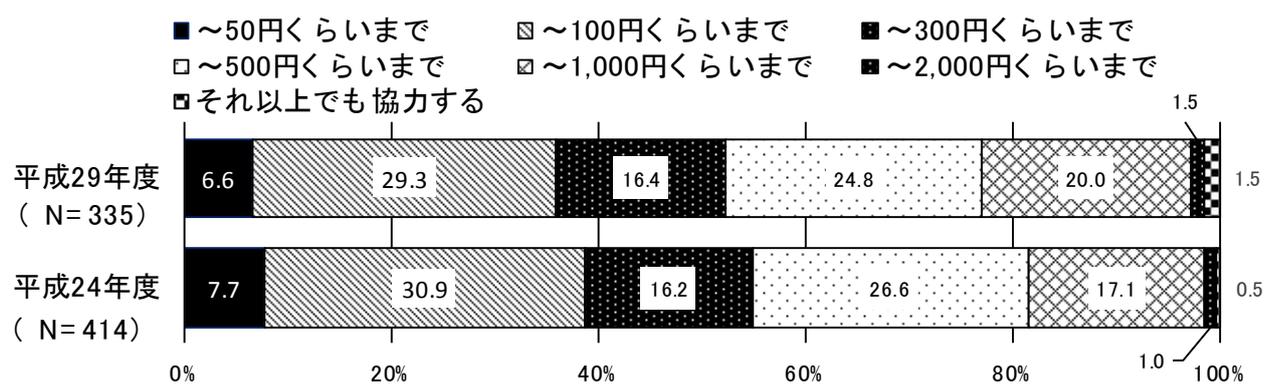
<特記事項>

- ・「思う」と答えた人はやや減少した。
- ・一方で、寄付しても良いと答えた人が可能な協力金額については、64.2%が「(1カ月あたり)～300円まで」以上と回答しており、前回より高額を回答した人の割合が増加している。

◇「四万十川流域環境保全のための寄付への協力意思」



◇「寄付協力可能な金額の上限」



#### 4. 通信手段について

##### 【携帯電話などの所有有無】

「持っている」83.6%（前回から5.4ポイント増加）、「持っていない」16.4%

##### 【携帯電話などでのネット利用状況】

割合の多い項目：「いつも利用している」38.7%、「全く利用していない」32.2%

<特記事項>

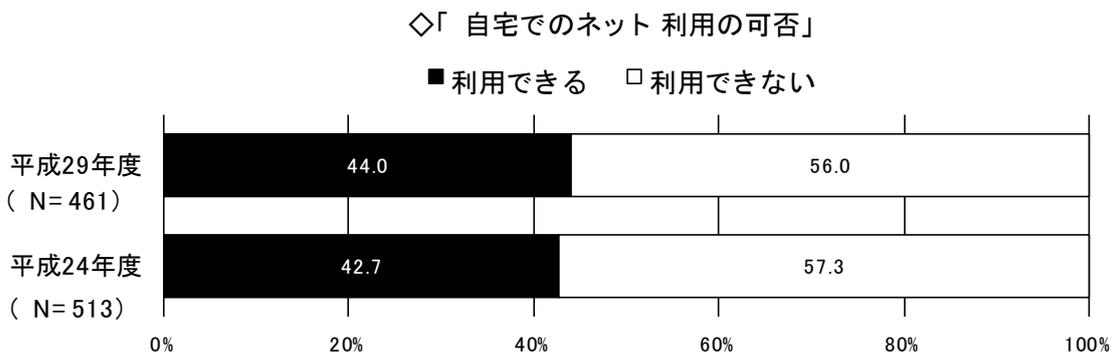
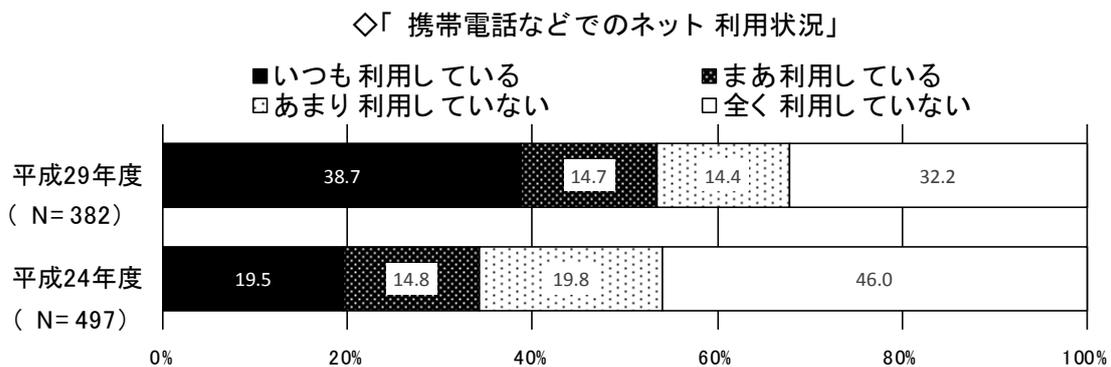
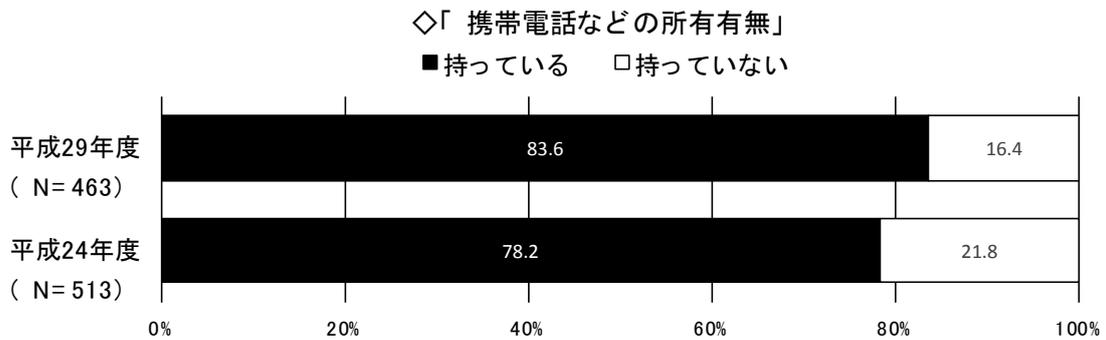
・「いつも利用している」+「まあ利用している」は53.4%（前回から19.1ポイント増加）

##### 【自宅でのネット利用の可否】

「利用できる」44.0%（前回から1.3ポイント増加）、「利用できない」56.0%

<特記事項>

・携帯電話など及びインターネット利用ともにさらに普及が進んだことがうかがえる。



## 5. 居留意思と生活の満足度

### 【現在の居住地に住み続けたいと思うか】

「そう思っている」86.8%（前回から1.4ポイント増加）、「そう思っていない」13.2%

### 【現在の居住地への満足度】

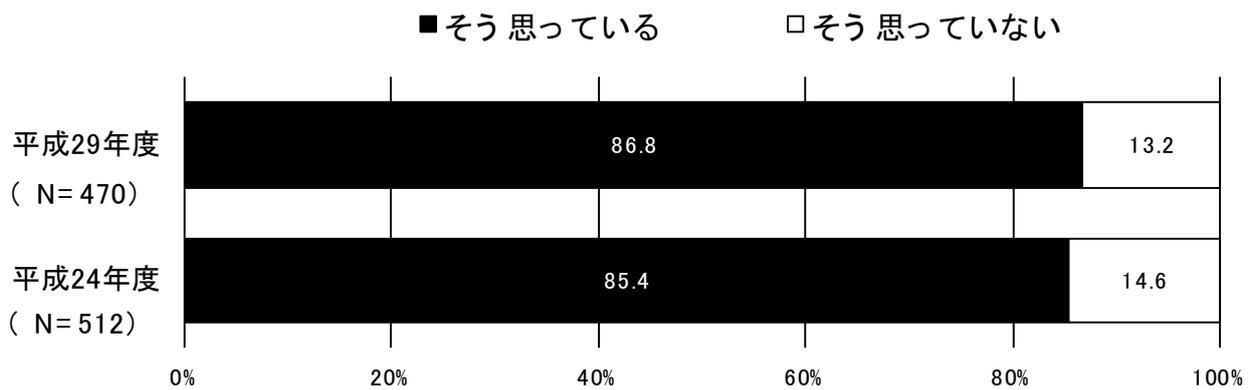
満足度の高い項目：「まあ満足している」43.2%（前回から5.7ポイント減少）

「満足している」25.4%（前回から6.8ポイント増加）

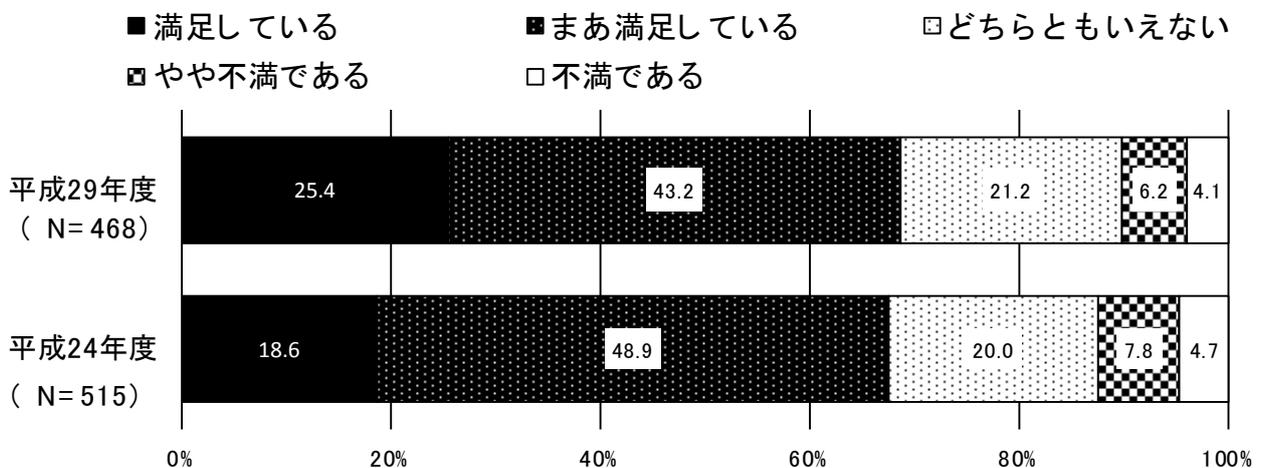
#### <特記事項>

- ・満足度において、『満足している（「満足している」＋「まあ満足している」）』は68.6%と、前回から1.1ポイント微増した。
- ・居留意思及び満足度ともに前回から大きな変化はなかった。

#### ◇「現在の居住地への居留意思」



#### ◇「現在の居住地への満足度」



【現在の居住地域に対する満足率】

項目ごとに『満足率』（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）を確認した。

満足率の高い項目：「まわりに親しめる自然があること」74.3%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%

「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

「保育所、幼稚園が充実していること」39.7%

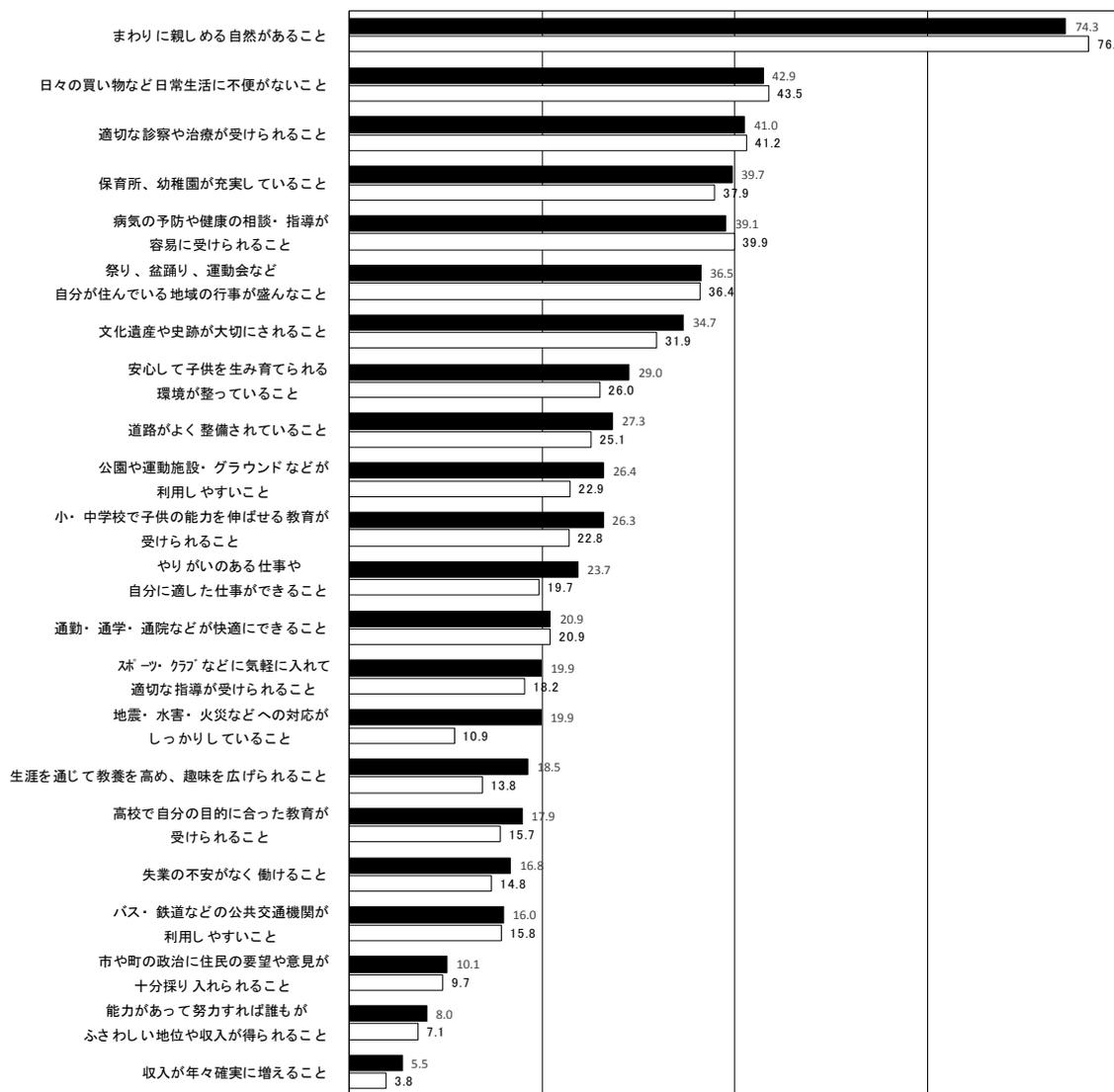
「病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること」39.1%

<特記事項>

- ・前回と比較すると、「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」に対する満足度が最も変化しており、9ポイント増加している。
- ・上位の項目の順位については、前回とほとんど変化はなかった。

◇「いま住んでいる地域に対する満足度」  
（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）

■平成29年度 □平成24年度



80(%)